



全力疾走!

平成 30 年 10 月 25 日発行 Vol.41 発行者 宮城県議会議員 庄田圭佑

観光・農業振興、子ども食堂認知度向上について質す!

皆さんこんにちは。宮城県議会議員の庄田圭佑（しょうだけいすけ）です。

9月18日から10月18日の日程で第365回定例会が開催されました。今議会も恒例の一般質問を行いました。今回のテーマは下記に記載の通りですが、主に、観光・農業振興に加え、子ども食堂、性感染症対策について質問いたしました。

まず、観光振興については、「観光振興＝観光消費額の増大」とであるという視点で、現金以外の決済方法であるキャッシュレス決済の推進とキャッシュレス推進協議会への加入を提言しました。また、

国の統計では県内よりも県外、県外よりもインバウンド(裏面に用語解説)の観光客の消費額が多いため、これら遠方からの誘客強化等について質問いたしました。執行部からも、「スポーツツーリズムなどの体験型観光の推進に取り組むほか、高額な消費が期待できる欧米豪の富裕層に向けたPRなど、市場動向を把握しながら、消費を意識した誘客に取り組む」と、観光消費額増大に向けた前向きな答弁でした。

また、農業振興については、新規就農者確保のために若者に魅力ある産業とし、農業を成長産業にすることが重要だという観点から、海外販路拡大と国際競争力の強化について質問致しました。執行部からは「輸出を含めた販路拡大や、6次産業化による農作物の高付加価値化の推進、最先端技術を活用した「スマート農業」の実現による経営の省力、低コスト化などによって、若者に魅力ある「儲かる農業」を目指してまいります」という答弁に加え、来年度より農林水産部が「農政部(仮)」と「水産林業部(仮)」に再編されることとなり、本腰を入れて農業振興に取り組む県の姿勢が明らかとなりました。

また、県政の諸課題では、子ども食堂の認知度向上について、県が子ども食堂を一覧表にまとめ学校で配布してはどうかと提言し、執行部からは「県のHP等で子ども食堂を紹介する。加えて一覧の配布など学校における周知について、市町村と連携し進めたい」との前向きな答弁でした。また、ここ数年増え続けている梅毒患者の対策強化を求め、執行部から「性感染症予防の啓発に努めるとともに、当日に結果が判明する、梅毒迅速検査の機会を増やすなど、梅毒の蔓延防止にしっかりと取り組んで参ります」との答弁でした。

引き続き県政発展に全力疾走して参りますので、皆様から忌憚のないご意見をいただければ幸いに存じます。

宮城県議会議員 **庄田圭佑**

今議会の一般質問内容

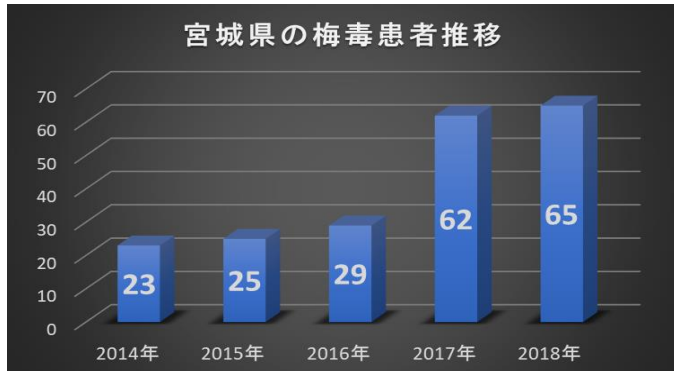
- ①観光振興について
- ②農業振興と海外販路拡大について
- ③県政の諸課題について
 - 1) 子ども食堂について
 - 2) 性感染症対策について



採択された意見書一覧

- ①私学助成の充実強化に関する意見書
- ②学校における空調設置の促進に関する意見書
- ③児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書
- ④東日本大震災被災地の子どもの支援する事業の充実を求める意見書
- ⑤東日本大震災の被災者の心のケア対策の継続的な財政支援を求める意見書
- ⑥地域住民の安心・安全を確保する交番施設等のセキュリティ対策強化に関する意見書
- ⑦主要農作物の種子の安定供給・品質確保に関する意見書

増えています梅毒！



※2018年は9月13日時点の数値

ここ数年来梅毒患者が急増しております。

感染するとリンパ節炎や皮膚症状が現れ、治療をしないと症状は段階的に進行します。また、妊娠中の人が感染すると、胎盤を通じて胎児に感染し流産・死産の原因になったり、生まれてきた赤ちゃんに症状が現れる為より注意が必要です。

もしや！と思われる方は、県内各保健所で梅毒抗体検査等を実施しております。詳細は、県疾病・感染対策室のHP (<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/situkan/aidskenka-h24-4.html>) をご覧ください。

オフィスアワーのご案内

下記時間帯は必ず事務所にありますので、ご相談事等あれば、お気軽にお越しください。

11月3日(土) 12:00~14:00

コラマインバウンド

インバウンド(Inbound)とは、外国人が訪れてくる旅行のことをいいます。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行または訪日旅行ともいいます。これに対し、自国から外国へ出かける旅行をアウトバウンド(Outbound)または海外旅行といいます。

国の調査では、2017年の訪日外国人は2869万900人、1人当たりの旅行支出額は15万3921円で旅行消費額は4兆4,161億円と推計されています。日本経済への影響も大きく、人口減少に伴う消費額の減少をカバー出来るとして期待されています。

主な補正予算事業

今定例会では、約52億円の補正予算が議決されました。その主なものは以下の通りです。

東日本大震災復興交付金基金造成費 226,123千円
→復興地域づくりに必要な事業費等の積立

【新】ホタテ小型貝育成支援緊急対策費 20,000千円
→ホタテ小型貝養殖導入への助成

【新】震災アーカイブ構築費 17,000千円
→公共土木施設震災アーカイブの構築に向けた検討

【新】大和サカイ北工業用地整備費 910,000千円
→県土地開発公社事業資金借入の債務保証

中山間地域所得向上対策費 52,200千円
→中山間地域の施設整備への助成

災害に強い川づくり緊急対策費 189,000千円
→平成27年9月関東・東北豪雨被災の再度災害防止対策

放射光施設設置推進費 540,000千円
→放射光施設整備のための土地造成等への助成

エアコン設置について！

Q.子ども達の為に、公立学校にエアコン設置をお願いします。(泉区H様)



A. 県立学校の空調設備については、保健室のほか、図書室や音楽室等の特別教室、職員室や事務室等、用途毎に優先順位に従い整備を進めてまいりました。これに加えて、特別支援学校では、体温調節が困難な児童生徒が在籍する教室や寄宿舎全ての居室等にも設置しています。

空調設備のない県立高校の普通教室への設置費用は約56億円、維持費は年間2億円、特別支援学校では、設置費用は約14億円、維持費は年間約5,400万円と見込んでおり、一律に空調設備を整備するには多額の予算が必要であるため、財政的に困難と考えております。

この様な状況ですが、様々な障害を持つ児童生徒が学んでいる特別支援学校の普通教室については、国の補助の動向を見ながら、出来るだけ早く整備を進めてまいりたいと考えております。

県といたしましては、公立・私立問わず、エアコン設置に係る十分な予算の確保が必要と考えており、学校設置者が計画した事業が全て実施出来るよう、国に財源の確保と補助単価の引き上げ、更に、補助率の引き上げや補助対象範囲の拡大について、要望してまいりたいと考えております。

県政へ一言！！～ご意見をお待ちしております！～ FAX 050-3737-4421

お名前

お電話

住所

県議会議員 庄田圭佑プロフィール

●1984年2月2日生まれ。明泉幼稚園、南中山小・中を経て、泉館山高等学校、宮城大学事業構想学部事業計画学科卒業。卒業後、(株)サンケイビル(フジ・メディアHD傘下)に入社し、大手町連鎖型再開発事業等の都市開発事業に従事。その後仙台に戻り衆議院議員秘書。2015年10月宮城県議会議員初当選。自由民主党・県会議所所属。現在、総務企画委員、いじめ不登校等調査特別委員、泉青年会議所所属。

●先祖が白虎隊だった縁で「みやぎ会津会」所属 ●趣味:ジョギング、スポーツ観戦、旅行 ●特技:和太鼓、乗馬

庄田圭佑事務所 〒981-3213 仙台市泉区南中山2-2-5 TEL022-342-1041 FAX 050-3737-4421